

わたしの『やめて』

(自由と平和のための京大有志「声明書」子ども向け訳)

作詞／山岡信幸

作曲／田中正浩

くにとくにくのけんかをせんそうといいます
せんそうは「ぼくがころされないように—さきにころすんだ?という
せんそうはひとごろしのどうぐをう—おみせを—もうけさせます
うみがひろいのひとを—ころす—きちをつくるためじゃ—ない
げんこつでひとをきずつけて—えらそうにいばって—い—る—よ—り—も

だれかのいいわけでは—じ—ま—り—ます
せんそうははじまるとだ—れ—に—も—め—られませ
んがたかいいのはひとを—ころす—ひ—ろ—き—が—と—ぶ—ため—じゃ—ない
ころをたからかせてきずつけられたひとを—は—げましたい

せんそうははじめるのは—かんたんだけどおわるのは—むずかしい
がっこうで—まなぶのは—ひとごろし—の—どう—ぐ—を—つ—く—る—ため—じゃ—ない

せんそうは—い—たい—さん—も—お—と—し—よ—り—も—こ—ど—も—も—く—る—し—め—ま—す—せ—ん
がっこうで—まなぶのは—お—か—ね—も—う—け—の—ため—じゃ—ない—が—つ

そうはてやあし—を—ち—ぎ—り—こ—ろ—も—ひ—き—さ—き—ま—す
がっこうでまなぶのは—だれかのいいなりに—なるため—じゃ—ない

わたしのこころはわたしのもの—だれかに—あ—や—つ—ら—
わたしのいのちはわたしのもの—だれかの—ど—う—ぐ—に—な
おはなし—み—ん—な—の—い—の—ち—を—だ—い—じ—に—し—て—い—つ—も—す—き—な—こ—と—を—か
おはなし—し—た—り—し—た—い—で—も—せ—ん—そう—は—そ—れ—を—じ—ゃ

れた—く—な—い—
んが—た—く—な—い—
ます—え—た—り—
する—ん—だ—

するひとたちに—わたしはおおきなこえで—やめて—というんだ—
rit._____